

**JASDAQ**

平成 29 年 7 月 28 日

各 位

株式会社 大塚家具  
代表取締役社長 大塚 久美子  
(JASDAQ・コード番号 8186)  
問い合わせ先  
取締役常務執行役員 財務部長  
杉谷 仁司  
電話 03-5530-5522

## 特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 12 月期第 2 四半期において下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。また、平成 29 年 2 月 10 日に公表した業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の内容

##### (1) 減損損失

本部設備等の共用資産及び店舗について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行ない、9 億 62 百万円を特別損失として平成 29 年第 2 四半期に計上する見込みです。

##### (2) 事業構造改善引当金

平成 29 年 3 月に発表した経営ビジョンに基づき次世代店舗網の構築を加速するため、店舗の過剰面積の縮小等、店舗規模の適正化を前倒しで行なうことといたしました。これに伴う損失見込み額 19 億 48 百万円を事業構造改善引当金として平成 29 年 12 月期第 2 四半期に計上する見込みです。

#### 2. 業績予想の修正

##### (1) 平成 29 年 12 月期第 2 四半期累計期間業績予想 (平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1 株 当 たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	26,119	△300	△223	△319	△18.00
今回修正予想 (B)	21,380	△2,702	△2,609	△4,567	△260.49
増減額 (B - A)	△4,739	△2,402	△2,386	△4,247	—
増減率 (%)	△18.1%	—	—	—	—
(参考) 前期第 2 四半期実績	24,093	△1,973	△1,860	△2,497	△138.80

## (2) 平成29年12月期業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	53,019	500	601	367	20.71
今回修正予想(B)	42,816	△4,383	△4,345	△6,320	△360.41
増減額(B-A)	△10,203	△4,883	△4,946	△6,687	—
増減率(%)	△19.3%	—	—	—	—
(参考)前期実績	46,307	△4,597	△4,436	△4,567	△257.10

## (3) 修正の理由

当第2四半期累計期間におきましては、全社的なポジショニングイメージの改善や中小商圈・多店舗展開の次世代店舗網構築が途上であることから、新築まとめ買い需要依存度の高い大型店を中心に来店件数、成約件数が不十分であり、売上は低調となりました。期初下げ止まった売上は当第2四半期には住宅事業者等との販売提携、外商部の販売等による上積みがあったものの、新しいオペレーション確立に向けた仕組みづくりと教育の遅れにより、まとめ買い需要の大きい大型店の低迷を補うには至らず、全社としては低位のまま推移し、計画を下回る結果となりました。このような売上低迷を受け、当社を取り巻く環境の急速な変化に対応すべく従前より行なってきた店舗規模の適正化を前倒しで実施することといたしました。それに伴い、事業構造改善引当金を特別損失として第2四半期に計上いたします。

以上の結果、平成29年12月期第2四半期累計期間の業績予想につきましては、売上高を213億80百万円(前回予想比18.1%減)へ修正いたします。営業損失は27億2百万円(前回予想は3億円の損失)、経常損失は26億9百万円(前回予想は2億23百万円の損失)へ修正いたします。四半期純損失は、投資有価証券売却益等の特別利益9億71百万円、上記1に記載の特別損失29億11百万円等の計上に伴い45億67百万円(前回予想は3億19百万円の損失)へ修正いたします。

通期におきましては、店舗売上高は、上期の水準以上の改善を想定しておりましたが、安定的ながらも低位に推移した上期トレンドを踏まえ減額、計画どおりに進捗しているコントラクト売上高は期初計画を据え置きます。販売費及び一般管理費につきましては、店舗規模の適正化前倒し等による賃借料の減少や広告宣伝費の抑制等を織り込みます。なお、店舗網につきましては、「関東」エリアで4店舗、「その他」エリアで2店舗の過剰面積の縮小を実施するとともに、「関東」エリアでの物流センター統合を予定しております。

以上により、平成29年12月期通期業績予想につきましては、売上高を428億16百万円(前回予想比19.3%減)、営業損失を43億83百万円(前回予想は5億円の利益)、経常損失を43億45百万円(前回予想は6億1百万円の利益)、当期純損失を63億20百万円(前回予想は3億67百万円の利益)へ修正いたします。

(注) 上記の予想につきましては現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等はさまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上